

感対第 582 号
令和 4 (2022) 年 12 月 19 日

各関係団体等の長 様

栃木県新型コロナウイルス感染症対策本部長

新型コロナウイルス感染症対策の周知について (依頼)

本県の病床使用率は過去最高値を更新し、7割程度となるなど厳しい状況にあり、医療従事者の欠勤状況や救急のひっ迫状況も徐々に高まりつつあります。

一方、重症病床使用率は2割程度に留まっていること、新規感染者数は第7波の最大値と同程度となっていますが、現時点では季節性インフルエンザとの同時流行には至っておらず、発熱外来は一部の医療機関を除きひっ迫している状況にはないこと等を総合的に勘案し、本日開催の対策本部会議において警戒度レベルは2を維持することとしました。

今後、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行も見据え、入院・外来医療提供体制の強化に向けて引き続き取り組むとともに、人との接触の機会が増える年末年始を迎えるにあたり、基本的な感染対策の徹底やオミクロン株対応ワクチン等の早期接種、無料検査の活用等を県民・事業者に呼びかけることとしました。

つきましては、貴団体員等に対し、別添について周知していただきますようお願いいたします。

栃木県新型コロナウイルス感染症対策本部事務局
栃木県新型コロナウイルス生活相談センター
TEL 0570-666-983